

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

基本目標1 若者の地元定着と移住の促進を図る。

	指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
全体の数値目標 (KPI)	若者(15～39歳)の社会増減数(転入者数－転出者数)	平成27年度から平成31年度までの5年間で △65人 (住民基本台帳における平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値 △48人)	住民基本台帳	△32人 (平成27年度実績△63人)	—	政策推進課 (税務町民課)

1 若者が誇りを持てる「しごと」を創生する。

(1) 朝日町の商工業への就職を促進する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
①町の行政、商工会、観光協会、金融機関等による連携組織を立ち上げ、助成金、融資、小口投資・寄附等を組み合わせながら、ワンストップで次に掲げる支援を行う。				
ア 町内企業等の魅力を広く伝えとともに、町内企業等への就職を促す。				
就職相談及び無料職業紹介を実施する。	H29実施予定	行政、金融機関、商工会、農協、ハローワークが連携した「しごとサポート連携協議会」を立ち上げ、就職・新規創業・新規就農をワンストップで支援する体制(しごと相談窓口)を整えた。(相談窓口 役場総合産業課)	「しごと相談窓口」において、町内企業や商店、農業者等の求人情報を受付け、広報誌等により情報発信していく。	総合産業課
町内の企業ガイドを作成し、広く配布する。	実施済み	企業ガイドブックを作成し、町内中学校、企業、全戸に配布するとともに、ホームページに掲載するなど町内企業の魅力を発信した。	企業ガイドを管内高校3年生に配布するとともに、成人式や就職説明会等で配布する。	総合産業課
町内の商店マップを作成し、広く配布する。	実施済み	おみやげ品に特化した町内商店マップを作成した。	町内商店マップを道の駅及び町内観光施設等に配置し、町内各商店への誘導を図る。	総合産業課
求人情報サイトや県の就職支援サイト等への町内企業等の積極的な登録を支援する。	実施済み	町内企業に対し県就職情報サイト等への掲載について周知した。	引き続き町内の企業訪問による企業側の意向を把握するとともに、事業振興協議会等と調整し、登録支援を実施する。	総合産業課
町内企業等における職業体験(インターンシップ)の積極的な受入れを促進する。	実施済み	商工会と連携し、左沢高等学校生徒のインターンシップ受入先を確保した。(5事業所11名)	受入先の拡大を図りながら、継続して実施する。	総合産業課
町内企業等がどのような人材を求めているのかそのニーズを把握し、それに合わせた求人のPRを強化する。	検討中		「しごと相談窓口」において、町内企業や商店、農業者等の求人情報を受付け、広報誌等により情報発信していく。	総合産業課
中学校において職場体験学習を実施する。	実施済み	H28年7月実施 21事業所 64人参加	H29も継続して実施する。	教育文化課 (総合産業課)
町内企業等への就職希望者に対する奨学金の返還支援を行う。	実施済み	申請件数が1件あり、助成候補者として認定した。	町HP及びお知らせ板により周知し、活用を促す。	政策推進課 (教育文化課)
新規学卒就職者や正規雇用を行った企業等に対し奨励金を交付する。	実施済み	新規学卒者に対する奨励金 2件 町民を正規雇用した事業主に対する補助 9事業所(17名分)	H29も継続して実施する。	総合産業課
イ 町内の商工業の質及び収益性の向上を図る。				
製品・商品、店舗、販促ツール等の質の向上に対し支援する。	実施済み	旅館及び飲食業者によるマップ作成やスタンプラリーの実施に係る費用に対する補助を実施。	H29も継続して実施する。	総合産業課 (政策推進課)
従業員の技術の向上への支援を行う。	実施済み	農業、工業、観光分野で、産業力向上につながる人材育成のための海外研修に対する補助、又は社員等のスキルアップのための中小企業大学校受講に対する補助(H28は実績なし)	H28の実績はなかったがH29も継続して実施する。	総合産業課

	町内企業等の設備投資への支援を行う。	実施済み	平成27年度設備投資に対する奨励金の交付 1企業	H29も継続して実施する。(H28指定事業者 1企業)	総合産業課
	金融機関からの融資に係る利子等への支援を行う。	実施済み	商工業振興資金融資制度の保証料補償 91件(県信用保証協会分)	H29も継続して実施する。	総合産業課
	商品開発への支援を行う。	実施済み	新商品開発に対する相談対応 0件	H29も継続して実施する。	総合産業課
	販路開拓・拡大への支援を行う。	実施済み	県外で開催される商談会、見本市等への参加・出店に対する支援 2企業	H29も継続して実施する。	総合産業課
	6次産業化への支援を行う。	実施済み	新たな事業経営等に対する創業支援補助 2件	H29も継続して実施する。	総合産業課 (農林振興課)
	商店街が一体的に取り組む各商店の質の向上やお買い物券の発行といった町内商店の活性化を図る取組みへの支援を行う。	実施済み	魅力づくりと賑わいを創出する商店街のブランド化の取組として、一体的な歓迎旗等の作成費用に対する補助を実施。10%プレミアム商品券1,800セット、イベントサービス券発行に対する補助を実施。	H29も継続して実施する。	総合産業課
	ふるさと納税の返礼品として活用することにより町の特産品のPRと販路拡大を図る。	実施済み	農作物の品目を拡充した(桃、ブドウ、ラ・フランス)。農産物が全体9,359件の約95%の割合を占めており、ワインが約5,100件、青果物が約4,600件の申し込みがあった。	追加を希望する青果生産部会や事業所等があれば返礼品に加えていく。	政策推進課 (総合産業課)
	ブランド化についての学びの場を提供する。	実施済み	あさひまちブランド大学アンコールを開催し、これまで学んできたブランド化を実践している講師を招聘し、より実践力を高める場を提供した。	あさひまちブランド大学での学びを形にした事業(アップルミートマラソン&ウォーキング)を継続して実施し、実践を通じた学びの場を提供する。	政策推進課
ウ	攻めの企業誘致、新規創業、継業促進を図る。				
	町、地域、商店街等が求める企業等や商品等を明確にし、それらの誘致、創業又は継業の募集を全国に向け発信する。	検討中		町が求める仕事や店舗等のニーズをどのように把握し、どのように募集をかけるのが効果的か検討していく。	総合産業課
	空き店舗や廃校等を仕事場として提供する。	実施済み	廃校を仕事場として提供するため、旧送橋小学校の一部修繕を実施。	旧送橋小学校を創業に向けた仕事場やサテライトオフィスとしての提供に向けた事業を実施する。	総合産業課
	空き家バンクのホームページをリニューアルし、空き店舗等についても積極的な情報提供を行う。	実施済み	空き店舗バンク等を開設し、空き家のほか、町内の空き店舗、空き地情報の登録・ホームページ上の発信を行っている。	H29も継続して実施する。	政策推進課
	創業相談及び業種毎の創業の手続きに関する指導を行う。	実施済み	行政、金融機関、商工会、農協、ハローワークが連携した「しごとサポート連携協議会」を立ち上げ、就職・新規創業・新規就農をワンストップで支援する体制(しごと相談窓口)を整えた。	相談に対する対応及び各関係機関(商工会や金融機関等)が一体となった支援を実施する。	総合産業課
	県で実施する創業塾や創業セミナー等の積極的な情報提供を行う。	実施済み	町ホームページ、お知らせ板等で情報提供を行った。西村山1市4町でも連携して創業セミナーを開催した。	H29も継続して実施する。	総合産業課
	企業等の誘致や創業に係る設備投資への支援を行う。	実施済み	新たな事業経営等に対する創業支援補助 2件	H29も継続して実施する。	総合産業課
	金融機関からの融資に係る利子等への支援を行う。【再掲】				総合産業課
②	町内に留まらず、広域で町民の就職先を確保する。				
	西村山1市4町で協力して企業誘致や町民の雇用先の確保を図る。	実施済み	西村山雇用対策協議会やハローワーク寒河江と県及び1市4町等が共催して新規学卒者を対象とする求人申込説明会を開催した。(各1回)	H29も引き続き実施される予定。	総合産業課
	西村山1市4町で協力して企業合同説明会を開催する。	実施済み	ハローワーク寒河江と県及び1市4町等が共催して企業の就職相談会を開催した。(3回開催。朝日町参加企業:1回目2社、2回目5社、3回目2社) 東京において企業ガイダンス(山形ワークフェスin東京)を開催した。(朝日町参加企業 2社)	H29も引き続き実施される予定。	総合産業課
	就職相談等において、希望者のニーズに応じて町外の求人の情報等も提供する。	検討中		求人情報の収集方法も含めて検討中	総合産業課

③ 朝日町の森の恵みを活かした産業振興と雇用創出を図り、持続可能な社会を実現する。					
	伐採されたりんごの木等の資源を有効活用し、薪(まき)やチップなどの木質バイオマス燃料の供給体制の構築を推進する。	実施済み	朝日町有志会において、薪ステーションの設置及びりんご炭の生産を行った。 朝日町ワインまつりにおいてりんご炭を使用し、PRすることができた。	今後は、炭の品質等の改善を図りながら販路の拡大につなげる取組となるよう有志会と協議を行う。さらに木質バイオマスの燃焼器(ペレットストーブや薪ストーブ)の支援を行いながら普及推進を図る。	農林振興課 (総合産業課)
	広域で連携して、西山杉を活用した原木の生産から乾燥、流通までの一貫した支援と西山杉を活用した住宅の地域内への普及を促進する。	H29実施予定		西山杉の有効活用を図る為、西川、大江との3町による協議会が立ち上がり、今後一貫した支援体制を図る。	農林振興課 (総合産業課)

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
町内企業等に就職した15歳から39歳までの町内居住者の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 75人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:15人)	新規学卒者激励金の交付実績、緊急雇用確保対策補助金の交付実績	H28:13人 (H27:10人)	30.7%	総合産業課
町内の工業の製造品出荷額	平成31年度 54億6千万円 (平成26年度:54億5,392万円)	工業統計調査(毎年)	※まだ出ていない (経済センサス活動調査の結果が確定するのはH29になる予定)	—	総合産業課
町内の年間商品販売額	平成30年度 35億5千万円 (平成26年度:35億4,253万円)	商業統計調査(2年に1回)	※まだ出ていない (経済センサス活動調査の結果が確定するのはH29になる予定)	—	総合産業課
企業誘致及び新規創業数	平成27年度から平成31年度の5年間で15件 (平成24年度から平成26年度までの3年間の実績:9件)	実績	H28:2件 (H27:2件)	26.7%	総合産業課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

1 若者が誇りを持てる「しごと」を創生する。

(2) 朝日町での就農を促進する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 町内の農業の質及び収益性の向上を図る。				
りんごその他の農産物の品質向上への支援を行う。	実施済み	国の果樹経営安定対策事業による改植実施に対する補助 4件	国の事業を積極的に活用しながら、老木化の更新を更に推進する。	農林振興課
産業創造推進機構で作成したレンピや道の駅に併設される農産物加工施設等を活用し、6次産業化による商品開発を支援する。	実施済み	5団体が週4日農産物加工施設を利用して加工製品の開発を行っている。	引き続き支援を行う。	総合産業課 (農林振興課)
パッケージデザインや販促ツール等の魅力の向上やイメージの統一化に対する支援を行う。	実施済み	ブランド大学で学んだことを活かして、向上を目指す農家がパッケージデザインや販促ツールのリニューアルを実施した。(白田りんご園、柏原ぶどう組合など) 段ボール、ラベル等の作成に対する補助 4件	魅力ある商品づくりの方法として農業者へ周知することができたので、平成28年度で補助事業は終了する。	農林振興課 (政策推進課)
りんごその他の農産物の海外輸出の促進その他の販路の開拓・拡大への支援を行う。	実施済み	海外でのプロモーションに係る費用に対して補助を行った。りんごの海外輸出量が 61.7トンの実績となった(対前年比85.9%)新たに香港へラフランスを輸出した。	東アジアを中心に更なる輸出量の拡大を図る。	農林振興課
道の駅での農産物の直売を推進する。	実施済み	施設園芸用ハウス整備に対する補助制度を設けている。H28は3件3棟(H25:3件、H26:1件、H27:0)	引き続き「りんごの森」での冬期間における販売品目の充実に向け支援を継続する。	農林振興課 (総合産業課)
ブランド米(「あさひ清流美人」、「棚田米」など)の販売促進や土づくり等に対する支援を行う。	実施済み	棚田米販売数52,200kg(対前年比97.1%) 堆肥散布面積 21.8ha(対前年比74.9%)472m3 あさひ清流美人は、人工衛星による食味検査業者が業務を行わないこととなり取り組みができなかった。	あさひ清流美人に代わる新たなブランド米確立するために関係機関と協議し検討を行う。 良質米生産に向け継続して支援を行う。	農林振興課
収益性の高い園芸作物の栽培に対する支援を行う。	実施済み	町ブランド品維持支援事業としてさくらんぼ雨よけハウス、ぶどう棚及び苗木購入に対して支援を行った	引き続き支援を行う。	農林振興課
朝日町でこれまでやっていない技術や品種などの先進的な取り組みに対して支援を行う。	実施済み	プチベール用ハウス アーモンド苗木等に対する補助 2件	農家所得向上の為、引き続き支援を行う。	農林振興課
規模拡大を図るための高性能な農機具の購入に対する支援を行う。	実施済み	認定農業者の農機具の購入に対する補助 11件、定年帰農支援 3件	認定農業者の経営改善計画の目標達成に向け引き続き支援を行う。	農林振興課
農業生産法人を設立する意向のある農家に対し、研修会を開催する等により実現に向けた支援を行う。	実施済み	集落営農組合の法人化について研修会を実施した。	今後も設立に向け支援を行う。	農林振興課
家庭や学校給食等での地産地消の推進を図る。	実施済み	朝日町食育・地産地消推進計画を策定。 可能な限り地元産の食材を使うように対応している。	推進計画達成に向け各種事業を実施する。 継続実施	農林振興課 (教育文化課)
雪害や鳥獣被害を防止するための取組みに対し支援する。	実施済み	鳥獣被害防止対策協議会及び実施隊の設置 雪害対策に向けた共済掛金に対する補助 雪害防止用の資材の購入費への補助 11件	クマ、猪の被害が多くなってきており、引き続き有害鳥獣被害防止に向け支援を継続する。 雪害対策に向けても引き続き支援を行う。	農林振興課
ふるさと納税の返礼品として活用することにより町の特産品のPRと販路拡大を図る。【再掲】				政策推進課 (農林振興課)
農作業の手伝いとして、農業に関心のある町外の若者の積極的な受け入れを促進する。	実施済み	新規就農者の支援として受入協議会を設置し、技術指導等を行った。また、朝日町農業研修生等宿泊施設を設置し受入を行った。短期:2件、長期:1件	就農者確保に向け、研修受入れを積極的に行う。	農林振興課
農作業の手伝いとして町外から来た人が泊まることのできる宿泊施設を整備する。	実施済み	朝日町農業研修生等宿泊施設を設置し受入を行った。短期:2件、長期:1件	就農者確保に向け、研修受入れを積極的に行う。	農林振興課
② 新規就農の促進を図る。				

	町内の農家において短期農業体験研修及び長期農業研修を実施する。	実施済み	朝日町農業研修生等宿泊施設を設置し受入を行った。短期：2件、長期：1件	就農者確保に向け、研修受入れを積極的に行う。	農林振興課
	空き家等を利活用した農業研修生の宿泊施設を整備する。	実施済み	朝日町農業研修生等宿泊施設を設置し受入を行った。短期：2件、長期：1件	就農者確保に向け、研修受入れを積極的に行う。	農林振興課
	町内への就農を条件に農業大学の授業料について全額補助する。	実施済み	H28補助要望なし	新規就農者確保の為、継続して支援を行う。	農林振興課
	就農に係る機械、施設等の設備投資への支援を行う。	実施済み	経営体育成支援事業(国補助) 3件 就農等条件整備事業(町補助) 2件	就農者の農業経営安定化に向け引き続き支援を行う。	農林振興課
	移住による新規就農者に対し青年就農給付金の上乗せを行う。	実施済み	該当者なし	新規就農者確保の為、継続して支援を行う。	農林振興課
	空き家バンクのホームページをリニューアルし、住宅情報と併せて空き農地や空き小屋の情報を積極的に発信する。	実施済み	空き農地バンクを開設し、町内の空き農地の登録・ホームページにおける発信を行っている。	H29も継続して実施する。	政策推進課
	就農の促進を図るため、農地を取得できる下限面積を緩和する。	検討中		新農業委員会で検討を行う。	農林振興課
	出荷組合等の枠を超えた若手農業者同士のつながりや技術及び経営力の向上を図るため、若手農業者団体の活動への支援を行う。	実施済み	朝日町若手農業者の会での園地視察や研修会、販促活動に対する補助を行った。	若手農業者の会の更なる活動促進の為、引き続き支援を行う。	農林振興課
	中学生や高校生、大学生を対象にした若手農業者や農業生産法人の下での農業体験を実施する。	検討中		中学生についてはキャリアスタートウィークにおいて農家での受入れを検討する。 高校や大学への呼びかけ等、対象者の募集についてどのような方法があるか検討する。	農林振興課 (教育文化課)
	首都圏等で開催される就農希望者向けのイベント等に町内の若手農業者と共に参加し、積極的なPRを行う。	実施済み	新・農業人フェアに受入農業者や若手農業者とともに参加し、農業研修生確保のためPRを行った。(東京・仙台)	新規就農者確保の為、継続して支援を行う。	農林振興課
③ 年間を通して仕事を作ることにより、就農者の生活の安定性を図る。					
	町内の商工業者、商工会、観光協会、農協等が連携し、冬場などの農繁期以外の時期における雇用の場を確保することによって、就農者の収入の確保と町内企業等における人材の確保を図る。	H29実施予定	企業訪問を実施し、企業側のニーズの把握を行った。	「しごと相談窓口」において求人情報を受付け、広報誌等により情報発信していく。	総合産業課 (農林振興課)
	農繁期以外の時期に、高齢化の進む地域での見守り、草刈り、除雪、買い物支援等の地域支援活動に対し人材を派遣するような仕組みを構築する。	検討中		地域支援活動の内容の調査と、人材を派遣する仕組みの検討を行う。	政策推進課 (農林振興課)
	農業の傍ら、農家民宿や農家レストラン、農業体験観光等を実施することにより、農産物の販売以外での収入の確保を図る。	実施済み	農家民宿(農業体験観光)の創業に対する支援やセミナーを実施。(1件農家民宿開業)	H29も継続して実施する。	総合産業課 (農林振興課)
④ 女性農業者の促進を図る。					
	農業生産法人を設立する意向のある女性農業者グループに対し、研修会を開催する等により実現に向けた支援を行う。	実施済み	法人化：1件 農業知識等研修会の開催	法人化志向のある女性グループの掘り起しを行い、引き続き支援を行う。	農林振興課
	力仕事の分野や妊娠期間中等におけるシルバー人材センターやアグリヘルパーの活用を促進する。	検討中		シルバー人材会員における農作業研修と併せ、需要状況の調査を行い制度構築について検討する。	農林振興課
	女性の活躍が期待される農産物の加工や販売といった6次産業化への支援を行う。	実施済み	創業支援として女性団体の機械整備に対し支援を行った。 1件	6次産業化の普及推進に向け支援を継続する。	総合産業課 (農林振興課)
	大学生等の女性を対象とした町内の若手農業者の下での農業体験を実施する。	検討中		対象者の募集等どのような方法があるか検討する。	農林振興課
	農作業に係る現場環境の整備に対して支援する。	検討中		女性農業者との意見交換会で出された、女性農業者の意見を集約して、どのような支援が良いのか検討する。	農林振興課
	女性や高齢者が集まって野菜作りができるような場を提供し、そこで採れた野菜等を道の駅等で販売する仕組みを構築する。	検討中		対象者の募集等どのような方法があるか検討する。	農林振興課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
りんごの販売額(町の主要な生産組合を通じて出荷される販売額)	平成31年度 7億5千万円 (平成26年度:7億900万円)	朝日町の主要なりん ご生産組合の販売額 の合計値	7億4,200万円(3組合)	98.9%	農林振興課
15歳から39歳までの新規就農者数	平成27年度から平成31年度までの5年間 で 30人 (平成24年度から平成26年度までの1年あ たりの平均値:6人)	青年就農給付金の対 象者	H28:4人 (H27:4人)	26.7%	農林振興課
農業所得者における1人あたりの平均農業収入額	平成31年度 400万円 (平成26年の1人あたりの 平均農業収入額:358万6,494円)	課税台帳	432万2,370円	108.1%	農林振興課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(1) 朝日町を愛する気持ちの育成とその維持を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① エコミュージアムを活用した若者及び大人に対するふるさと教育の充実を図る。				
案内人の会と連携しながら、町民がNPO法人エコミュージアム協会において研究・集積した地域の宝について知り、それに直に触れる機会を作る。	実施済み	各学校の総合学習で活用	継続実施	教育文化課 (政策推進課)
学校や町民が集まる場において、町の取組みについて知ってもらうとともに町の将来について考えてもらう機会を設ける。	実施済み	朝日中学校3年生に対し町の取り組みなどについて講話を実施	継続実施	教育文化課 (政策推進課)
② まちづくりに若者が参画する場や機会を作る。				
まちづくりについて若者の意見やアイデア等を取り入れる場や機会を作る。	実施済み	第6次朝日町総合発展計画の策定等のため、若者の意見を取り入れながら若者の集まる場所づくり等について検討	継続して、第6次朝日町総合発展計画の策定等の中で若者の意見を取り入れながら検討を進める。 中学生が道の駅プロデュースなどのまちづくりに関わる授業を実施する。	政策推進課
③ 町に戻ってくる機会を捉えた情報発信とSNSの活用によるつながりの維持を図る。				
成人式や同級会といった転出した人が町に戻ってくる機会を捉えて、町の就職情報等の提供を行うとともに、町のSNSへの登録を推奨することにより、継続的な町の情報提供と町にいる仲間とのつながりの維持を図る。	実施済み	H29成人式で実施。町の取り組みをパネルで紹介	継続実施	政策推進課 (教育文化課)
中学生の時に収穫したぶどうで造ったワインを成人式でプレゼントする。	実施済み	成人式にて実施	継続実施	教育文化課 (農林振興課)

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
町民アンケートにおいて朝日町に「住み続けたい」又は「どちらかというに住み続けたい」と回答した人の割合	39歳以下 平成32年度 58% (平成27年度:53%) 40歳以上 平成32年度 77% (平成27年度:72%)	平成32年度に実施する町民アンケートの結果	—	—	政策推進課
中学生アンケートにおいて朝日町に「住み続けたい」又は「どちらかというに住み続けたい」と回答した生徒の割合	平成32年度 76% (平成27年度:71%)	平成32年度に実施する中学生アンケートの結果	—	—	政策推進課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(2) 将来のまちづくりを担う人材の育成と確保を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 地域貢献やまちづくりに積極的に取り組む人材を育成する。				
中学生及び高校生の地域でのボランティア活動を推進する。	実施済み	福祉施設のイベント等の運営に積極的に協力している中学生ボランティアサークル「きらり」、高校生ボランティアサークル「JOKER」の活動支援	継続実施	教育文化課
まちづくりについて若者の意見やアイデア等を取り入れる場や機会を作る。【再掲】				教育文化課 (政策推進課)
地域の住民や有志グループ等による、地域の活性化や環境整備といった住民主導によるまちづくりの取り組みを支援する。	実施済み	福祉施設のイベント等の運営に積極的に協力している中学生ボランティアサークル「きらり」、高校生ボランティアサークル「JOKER」の活動支援	継続実施	教育文化課 (政策推進課)
町と協働してまちづくりを担うまちづくり会社の育成を図る。	検討中		H29に国の交付金を活用し、会社の形態や業務範囲を検討する。	政策推進課
② 地域貢献やまちづくりに積極的に取り組む人材を確保する。				
大学と連携し、まちづくりに有用な知識、技術を身につけた人材の育成や確保を図る。	実施済み	第6次朝日町総合発展計画の策定等のため、大学の指導によるまちづくりのための職員研修を行った。	計画策定後の大学との協力関係を検討する。	政策推進課
町や地域の抱える課題を明確にしたうえで、それらの手助けに意欲的に取り組みたいという若者を募集し、地域おこし協力隊やインターン等として受け入れる。	実施済み	大沼地区において、浮島管理等地域の活性化のため緑の協力隊を配置した。 白倉区の自治活動の支援のために協力隊員を1名配置した。 移住・交流を推進するため、新たに1名を地域おこし協力隊として雇用した。	・白倉区は継続して配置を行い、協力隊の役割、目的を整理していく。 ・移住・交流を推進するため継続して実施する。	政策推進課
集落支援員を活用した集落支援の取組みを推進する。	H29実施予定	H29実施に向けた内容の検討	H29より2名配置し、地域の振興計画策定のための地区の点検作業を行っていく。	政策推進課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
まちづくりに取り組む新たな組織の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で3団体	実績	H28:0団体 (H27:2団体)	66.7%	教育文化課 (政策推進課)
地域おこし協力隊やインターン等として町に受け入れた若者の人数	平成27年度から平成31年度の5年間で10人	実績	H28:5人 (H27:3人)	80.0%	政策推進課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(3) 朝日町の特徴を活かした満足度の高い教育を実施する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 自然体験活動を通して、豊かな心を育成する。				
保育園において朝日町の豊かな自然等と触れ合う活動の強化を図る。	実施済み	保育園内外の植物、虫や鳥、動物の観察、花の栽培、どろんこ畑の野菜づくり、里山探検、お花見、散歩、砂場、園庭雪遊び、自然観そりすべり等を実施	引き続き実施する。	健康福祉課
中学生及び高校生の地域でのボランティア活動を推進する。【再掲】				教育文化課
朝日ナチュラリストクラブや公民館活動等を通じた自然体験活動を推進する。	実施済み	各団体の事業などに対して支援を実施	継続実施	教育文化課
スキー、カヌー、登山等の自然を活かしたアウトドアスポーツに触れる機会を推進する。	実施済み	町民登山の実施	継続実施	教育文化課
緑の少年団による緑を守る奉仕活動や学習、レクリエーションを行う。	実施済み	平成28年度新たに各小学校に緑の少年団結成	継続実施	教育文化課 (農林振興課)
② 少人数であることを活かしたきめの細かい学習指導を行う。				
小学校及び中学校に学習生活指導員を配置する。	実施済み	児童生徒の状況に応じて学習生活指導員を配置	継続実施	教育文化課
複式学級支援補助員や特別支援学級支援補助員を配置する。	H29実施予定		平成29年度より大谷小学校特別支援対応のため新たに1名を学習生活指導員として1名配置	教育文化課
③ 保育園、小学校、中学校が連携した一貫した就学の支援を行う。				
保育園、小学校、中学校の先生による情報交換会を開催する。	実施済み	H28から朝日町教育研究所内に保小中連携推進部会を新たに設置し連携強化を推進。保小連携推進事業の中で情報交換を実施した。	継続実施	教育文化課
④ 国際化の時代に対応した広い視野を持った人材を育成する。				
保育園における教育プログラムの強化を図る。	実施済み	ALTを派遣し、英語の教室を実施	英語教室は、引き続き実施 教育研究所・保小中連携推進部会で、児童がスムーズに保育園から小学校へ移行できるよう(小1プロブレム対策)、教育プログラムを検討し実践する。	健康福祉課 (教育文化課)
中学校において海外派遣研修を実施する。	実施済み	平成28年度にアメリカコロラド州へ6名の中学生の派遣を実施した	継続実施	教育文化課
外国人講師による生の英語指導や学習会など英語教育の充実を図る。	実施済み	専門の英語指導講師を配置し、保育園、小学校、中学校で英語学習を実施。英検を通した英語力の向上を目的に英語学習会を実施。	継続実施	教育文化課
日本の次世代リーダー養成塾への高校生の参加を支援するとともに、参加者を中心とした高校生の人材育成のための交流会を開催する。	実施済み	日本の次世代リーダー養成塾へ1名の高校生の参加を支援し、参加者と高校生ボランティアサークルメンバーとの交流会を実施	継続実施	教育文化課

⑤ 職場体験学習や農業体験により、働く意義を考え、自立する心を養成する。				
小学校及び中学校において農業体験を実施する。	実施済み	りんご栽培学習や稲作学習、畑での栽培学習を実施	継続実施	教育文化課 (農林振興課)
中学校において職場体験学習を実施する。【再掲】				教育文化課 (総合産業課)
⑥ 読書や芸術に触れることを通じて、豊かな感性を育成する。				
小学校及び中学校に読書活動推進員を配置する。	実施済み	子どもたちの読書活動を推進するために、小学校に引き続き新たに中学校に読書活動推進員を配置。合計2名の推進員で4校を管轄。	継続実施	教育文化課
町内在住のオペラ歌手によるコンサートの開催や町内に拠点を有する芸術家団体による図工の学習指導等を実施する。	実施済み	オペラコンサートは3年に1回の開催 あとリエマサトと図工の時間による学校関係、学年行事への拡充実施	あとリエマサトについて開催形態を見直し進めていく	教育文化課
⑦ 地域の大人との交流による学びの機会を創出する。				
放課後における地域の先生による学習やスポーツ、文化活動等の取組みを推進する。	実施済み	町内3小学校すべてにおいて放課後子ども教室を実施。内容の充実を図っていく	継続実施	教育文化課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
全国学力・学習状況調査において「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒の割合	小学校6年生:平成32年度 95% (平成26年度 90.5%) 中学校3年生:平成32年度 95% (平成26年度 90.2%)	全国学力・学習状況調査	小学校6年生:99.8% 中学校3年生:92.9%	小学校6年生:105.1% 中学校3年生:97.7%	教育文化課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(4) 観光振興により交流人口の拡大を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 観光資源の充実を図る。				
NPO法人エコミュージアム協会において研究・集積した地域の宝を、案内人の会において案内することを通じて交流人口の拡大を図る。	実施済み	・案内人の会による案内数 述べ873人 ・ふるさとミニ紀行の開催 計3回(高田のブナ林探索、幻の大谷天満宮見学、鈴木酒造酒蔵見学)参加者43人 ・道の駅ギャラリーにおいて地域の宝(大谷風神祭)のパネル展示を実施。 ・町の歴史的建造物の現地見学会及びシンポジウムを開催(全4回開催:参加者46人(内町内36人))	地域の宝を活用したツアー商品の開発とツアー会社への売り込みを進めていく。 交流人口の拡大を図るため、町外への周知方法を検討のうえ引き続き実施。	政策推進課 (総合産業課)
Asahi自然観、朝日鉱泉ナチュラリストの家、NPOブナの森等における朝日町の自然を活かした体験活動により交流人口の拡大を図る。	実施済み	朝日自然観でのスキーやワラビ採り、星空観察、ナチュラリストの家での朝日岳登山や溪流釣り、NPOブナの森でのカヌー探訪など自然を活かした体験活動を実施している。	継続して実施する。	総合産業課
わざわざ朝日町に来ないと買えない商品や食べられない食べ物等の開発を支援する。	実施済み	・地元食品企業や商工会、道の駅と連携しての商品開発を実施した。(第2弾カレーとりんごタルト) ・あっぷるニュー豚や雪りんご、りんごの木を活用した炭づくりといった地域資源を活用した商品開発等に対する支援	引き続き商品開発を進める。	総合産業課
観光資源や観光地等の魅力の向上に対し支援する。	実施済み	観光施設等の維持修繕、空気神社参道の整備等を実施	自然観等の施設の充実、秋葉山の整備等を検討している。	総合産業課
② 観光情報発信の強化を図る。				
首都圏、仙台圏等に対する観光プロモーションを強化する。	実施済み	現地でのプロモーション活動を実施した。 (首都圏:3回、仙台圏:4回、県内:3回)	継続して実施する。	総合産業課
インターネット等による情報発信を強化する。	実施済み	町、観光協会及び道の駅あさひまちHPでの情報発信を行った。	町内のイベント等のPR強化を図る。	総合産業課
観光パンフレットを改訂し、広く配布する。	実施済み	観光パンフを新たに15,000部作成。町内商店、観光施設に配布。(インバウンド向け英語版、繁体字版も作成)併せて観光マップも作成。	内容を確認し継続(増刷)して実施する。	総合産業課
朝日町の地域の宝マップを作成し、広く配布する。	実施済み	町のおみやげマップを作成。(掲載希望商店)	内容を確認し継続(増刷)して実施する。	政策推進課
観光ボランティアの配置や道の駅への観光案内所の設置により、観光地を案内する体制を強化する。	実施済み	道の駅に観光に関する情報コーナーと観光協会職員を配置し、情報発信、案内業務等の強化を図っている。	継続して実施する。	総合産業課
③ 朝日町の魅力を活かしたグリーンツーリズムによる着地型観光を推進する。				
道の駅における町の特産物の直売やイベント等の開催を通じて交流人口の拡大を図る。	実施済み	町内産農産物等の充実を図り、定期的なイベント(七ヶ浜DAY等)を開催し交流人口の拡大を図っている。(H28利用者数:36万2千人)	継続して実施する。	総合産業課
朝日連峰、朝日川、最上川等の朝日町の自然を活かした体験活動により交流人口の拡大を図る。	実施済み	朝日川での溪流まつり、イベントでのツリーイング体験、町民登山、雪山トレッキングを実施。	継続して事業を実施するとともに、最上川でのカヌー体験等自然を活かした体験活動のPR強化を図る。	総合産業課
民宿、農家レストラン、農園ランチ、農業体験といったグリーンツーリズムに取り組む人への支援を行う。	実施済み	農家民宿(農業体験観光)の創業に対する支援やセミナーを実施。(1件農家民宿開業)	H29も継続して実施する。	総合産業課
朝日町の魅力を活かした着地型観光ツアーの開発を行う。	実施済み	観光協会と連携して、町のりんご園を利用したりんごもぎ取りツアー、町内の体験プログラムを取り入れた手仕事体験ツアーを実施。	今後は道の駅を起点とし、着地型観光ツアーの開発を検討。	総合産業課

④ イベントの開催による交流人口の拡大を図る。				
集客力と参加者の満足度の高い、朝日町の魅力を活かした観光イベントを開催する。	実施済み	・町の資源、魅力等を活用したイベントの実施により年々集客力が上がっている。 空気まつり3,500人、溪流まつり2,000人、ワインまつり1,400人 産業まつり20,000人	道の駅を起点とし、りんごもぎ取り体験、りんご温泉等を組み合わせた着地型観光ツアーを実施予定	総合産業課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
年間観光客数	平成31年度 800千人 (平成26年度:317千人)	観光入込客統計	670千人	83.7%	総合産業課
道の駅への来場者数及び売り上げ	平成31年度 来場者数 350千人、売上1億8千万円	実績	来場者数 362千人 売上 1億9千万円	来場者数:103.4% 売上:105.6%	総合産業課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(4) 観光振興により交流人口の拡大を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
⑤ 広域で連携することにより交流人口を拡大する。				
ア 県と連携した施策				
「県産ワイン」をテーマにした広域周遊ツアーを実施する。	検討中		県において「県産ワイン」をテーマにした広域周遊ツアー実施を検討中	総合産業課
冬季の観光振興を図るため、雪を活用したイベントを開催する。	実施済み	寒河江市を会場に冬期間の誘客を図るための雪フェスティバルの実施	引き続き実施される予定	総合産業課
イ 県外市町村と連携した施策				
宮城県七ヶ浜町との交流事業を推進する。(特産品の出品、スポーツ少年団の交流など)	実施済み	友好の町交流事業参加補助金 交付実績 1件	七ヶ浜町との交流事業を推進するため、引き続き支援を行っていく。	政策推進課
ウ 西村山1市4町と連携した施策				
共通ポイント業者と連携して、西村山1市4町における観光客の属性・消費などの観光データの分析・収集を行う。	実施済み	TSUTAYAポイントカード端末設置によるデータの収集・分析を行った	実施終了	総合産業課
冬季の観光振興を図るため、雪を活用したイベントを開催する。【再掲】				総合産業課
西村山1市4町における観光振興に資する創業を促すためのセミナー開催や交通量調査等を実施する。	実施済み	・西村山地域にて創業を検討している方を対象にした創業セミナーを開催 ・西村山地域情報誌に「私の起業story」を連載	実施終了	総合産業課
西村山1市4町における広域観光を支える人材育成の観点から外国人観光客対応を含めた研修等を実施する。	実施済み	・西村山地域の観光ボランティアガイドや観光関係者などを対象に観光資源の再認識等人材研修を行った。 ・西村山地域各市町多言語化観光パンフの印刷	・西村山地域の観光ボランティアガイドや観光関係者などを対象に観光資源の再認識等人材研修を行う。 ・西村山地域各市町多言語化観光パンフの印刷	総合産業課
主に外国人観光客向けの無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備及びDMOの体制整備を実施する。	実施済み	実施終了(平成27年度に整備済)	実施終了	総合産業課
「雪」観光への関心が高い台湾向けに旅行商品の造成を働きかけ、インバウンドチャーター便への支援や受入体制の整備を実施するとともに、観光誘客・観光情報発信の強化や有機EL照明パネルなどを用いた県内各地の雪まつりに対する支援を実施する。	実施済み	県において実施した	県において引き続き実施	総合産業課
寒河江市と連携し、寒河江市のさくらんぼと朝日町のりんごを活かしたインバウンド観光の推進を行う。	実施済み	寒河江市と連携し、観光情報を台湾に向けてPRするため映像を作成し、TV番組の放映を行った。	引き続き寒河江市と連携し実施	総合産業課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値 ※平成31年度における西村山1市4町の累計	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
観光客数	593万人	寒河江市において設定	67万人(朝日町実績)	—	総合産業課
外国人観光客数	2千人	寒河江市において設定	100人(朝日町実績)	—	総合産業課

観光協会等のHPアクセス数	88万件	寒河江市において設定	17万件(朝日町実績)	－	総合産業課
創業相談件数	40件	寒河江市において設定	3件(朝日町実績)	－	総合産業課
創業件数	15件	寒河江市において設定	2件(朝日町実績)	－	総合産業課
研修受講者数	300人	寒河江市において設定	5人(朝日町実績)	－	総合産業課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(5) 若者の移住を促進する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 移住希望者に対する情報発信を強化する。				
首都圏等で開催される移住セミナーやイベント等に参加し、移住希望者に向けた積極的なPRを行う。	実施済み	ふるさと回帰フェア、JOINフェアへの参加 山形県主催で寒河江西山1市4町での移住セミナーへの参加	今後も継続してフェア等へ参加し、PRを実施する。	政策推進課
移住促進パンフレットを作成し、イベント等における配布や移住に関する情報センター等への設置を行う。	H29実施予定	平成27年度作成のパンフレットを移住フェア等で配布。	掲載内容のリニューアルを実施し増刷予定。	政策推進課
全国移住ナビ等を活用し、インターネットによる情報発信を強化する。	実施済み	町HPの他、山形県の移住交流サイト、全国移住ナビ、JOIN(移住・交流推進機構)のHPにおいて情報発信を実施	・朝日町の移住・定住関連の情報についてまとめたHPを作成。	政策推進課
② 移住体験をする機会を設ける。				
空き家をリノベーションした朝日町の暮らしや町民との交流が体験できる施設を設ける。	実施済み	空き家をリノベーションしたゲストハウス「松本亭ー農舎」を整備。	外構整備を実施予定。	政策推進課
夏場や冬場などの季節ごとに、先輩移住者や町民の家等に滞在し、朝日町の生活を体験できるツアーを実施する。	実施済み	年2回(夏・冬)の移体験ツアーを実施。町HP、山形県移住交流サイト等にて周知。(夏のツアーは参加者が集まらずに中止。)	周知方法等を検討し、引き続き年2回のツアーを実施する。	政策推進課
③ 地域において移住者を受け入れるための環境整備を図る。				
移住者を積極的に受け入れることにより地域の活性化を図りたいと考えている地域において、移住者を受け入れるための受入方針の明確化を図る。	検討中		・各地区を訪問して移住者の受入れについて地区の意向確認を行う。	政策推進課
地域の空き家を積極的に空き家バンクに登録することによって、地域の活性化に意欲的に取り組む地区に対して奨励金を交付する。	実施済み	空き家利用協力報償金 交付実績 7件	空き家バンクの登録数が増えるよう、引き続き支援を行っていく。	政策推進課
④ 持ち家の取得に対する支援を行う。				
持ち家の建設又は購入に対し奨励金を交付する。	実施済み	持家建築奨励補助事業申請数87件、住宅リフォーム総合支援事業申請数67件	周知を強化し住宅等の改修を推進し、定住化につなげるとともに地域経済を活性化させる	建設水道課 (政策推進課)

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
移住セミナー等や移住体験がきっかけで移住した人の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3組 (平成24年度から平成26年度までの3年間の実績:1組)	実績	0	0.0%	政策推進課
移住者を受け入れるための環境整備に取り組む地区数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3地区	実績	0地区 (H27:1地区)	33.3%	政策推進課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(1) 町内の空き家を有効活用し、住宅として提供する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 空き家バンクを介して空き家の提供を行う。				
空き家の所有者への登録の呼びかけについて強化する。	実施済み	税務町民課が送付する納税通知書に空き家バンクのチラシを同封した。また、年2回空き家バンクのチラシを全戸配布した。	引き続き空き家バンクへ登録してもらえるよう周知していく。	政策推進課
空き家の登録促進を図るため、清掃や家財道具の処分に対して支援する。	実施済み	空き家バンク登録促進補助金 交付実績5件	空き家の登録促進となるよう引き続き支援していく。	政策推進課
地域の空き家を積極的に空き家バンクに登録することによって、地域の活性化に意欲的に取り組む地区に対して奨励金を交付する。【再掲】				政策推進課
空き家の改修費用への支援を行う。	実施済み	空き家改修支援事業補助金 交付実績3件(利用希望者)		政策推進課
リノベーションを推奨することにより、空き家の購入の促進を図る。	検討中		今後の進め方を検討中。	政策推進課
② 空き家を有効活用し、地域への若者の定住に向けた住宅を整備する。				
地域の空き家をリフォーム又はリノベーションした定住促進住宅を整備する。	検討中		今後の進め方を検討中。	建設水道課 (政策推進課)

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
空き家バンクを介した空き家の成約数(入居者が20歳から39歳のものに限る。)	平成27年度から平成31年度までの5年間で 10件 (平成23年度から平成27年度までの5年間:10件)	実績	5件 (H27:6件)	110.0%	政策推進課
空き家をリフォーム又はリノベーションした定住促進住宅の整備数	平成27年度から平成31年度までで 3棟	実績	0	0.0%	建設水道課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(2) 住民のニーズに対応した住環境を整備する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 民間アパートの町内への誘導を図る。				
民間アパートの建設に対し支援を行う。	実施済み	平成28年度中に2棟4戸完成、入居済、平成28年度繰越事業で1棟2戸建設中7月入居予定	事業の主旨を周知し事業を推進する(平成31年度までの予定)	建設水道課
② 町内の遊休土地についての情報提供を行う。				
空き家バンクのホームページをリニューアルし、町内にある遊休土地についても情報提供を行う。	実施済み	HPをリニューアルし宅地バンクを新たに開設した。	登録物件の拡大に努め、今後も継続する。	政策推進課
③ 持ち家の取得に対する支援を行う。				
持ち家の建設又は購入に対し奨励金を交付する。	実施済み	新築5件の申請があった。	1年ごと継続するか、協議する。	建設水道課
多世帯住宅の建設に対し支援する。	実施済み	3世代が同居するための申請数4件	1年ごと継続するか、協議する。	建設水道課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
民間アパートの誘致数	平成27年度から平成31年度までで 1 棟 (平成26年度現在:0棟)	実績	2棟	200.0%	建設水道課
空き家バンクのホームページを介した宅地の成約数	平成27年度から平成31年度までで 3件	実績	0	0.0%	政策推進課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(3) 交通の負担を軽減する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 山辺・山形方面への通勤・通学の負担を軽減する。				
朝日町・山形市間直行バスを運行する。	実施済み	往路1便、復路2便を運行 利用実績:7,747人	継続して実施する。	政策推進課
部活帰りの高校生が利用しやすい時間帯の運行について検討を進める。	検討中	復路3便の実証運行を実施(10月～12月61日間、山形20:15発) 利用実績:157人(平均2.5人)	H29より、山形20:40発で通年(平日限定)運行を実施	政策推進課
② 寒河江・左沢方面への通勤・通学の負担を軽減する。				
寒河江宮宿間の路線バスを利用する高校生に対して、定期券の購入費を支援する。	実施済み	宮宿～寒河江バスターミナル間の定期券購入費補助(補助率2/3)を補助した。 利用実績:92件 交付金額:2,675,400円	継続して実施する。	政策推進課
路線バスが運行していない時間帯におけるカバーについて検討を進める。	H29実施予定	アンケートの実施、関係機関調整	H29より、左沢駅19:30発で通年(平日限定)運行を実施	政策推進課
③ 保育園、小学校、中学校の通園・通学の負担を軽減する。				
通園バス及びスクールバスを運行する。	実施済み	・無料(保護者負担無し)で通園バスを運行。 ・子どもの状況に合わせスクールバスを効果的に運行した。	継続して実施する。	健康福祉課 教育文化課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
高校生の通学に関するアンケートにおいて、山辺・山形方面の高校へ通学する高校生のうち、山形直行バスを「往路・復路とも利用している」と回答した人の割合	平成32年度 23% (平成27年度:18%)	平成32年度に実施する高校生の通学に関するアンケートの結果	28% (平成28年度に実施したアンケート結果)	121.7%	政策推進課
高校生の通学に関するアンケートにおいて、左沢・寒河江・その他の方面の高校へ通学する高校生のうち、主に利用している交通手段として「保護者等が送迎」と回答した人の割合	平成32年度 34% (平成27年度:51%)	平成32年度に実施する高校生の通学に関するアンケートの結果	39% (平成28年度に実施したアンケート結果)	87.1%	政策推進課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(4) 若者の集まる場を設ける。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 若者が集まる魅力ある場を設ける。				
創遊館のスペースや空き店舗等を活用し、町内の若者が集まるような魅力ある場を設ける。	H29実施予定		第6次朝日町総合発展計画の策定等のため、若者の意見を取り入れながら若者の集まる場所づくり等について検討する。	政策推進課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
若者の集まる場の整備数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 1箇所	実績	0	0.0%	政策推進課

全体評価	やや不良
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

基本目標2 結婚・出産・子育てのしやすい環境を整える。

	指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
全体の数値目標 (KPI)	出生者数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 204人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:39人)	人口動態調査	34人 (平成27年度実績34人)	33.3%	健康福祉課
	合計特殊出生率	平成31年度 1.75 (平成23年度から平成25年度までの1年あたりの平均値:1.56)	人口動態調査	(H28の人口動態調査の確定数が出るのはH30.3以降になる予定)	—	健康福祉課
	婚姻数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 150組 (平成25年度:29組)	人口動態調査	(H28の人口動態調査の確定数が出るのはH30.3以降になる予定) 【参考】H28に朝日町役場に届出があった数値は25組	—	健康福祉課

1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。

(1) 仕事と子育てとの両立を支援する施設の充実を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 保育園の充実を図る。				
0歳児保育の充実を図る。	実施済み	保育環境をより充実し、定員を増やすため、未満児室の増改築を実施。	引き続き実施する。	健康福祉課
第2子(3歳以上児)の保育料を定額にする。	実施済み	第2子(3歳以上児)は5,000円定額	引き続き実施する。	健康福祉課
第3子以降(3歳以上児)の保育料を無料にする。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。	健康福祉課
早朝、延長保育や土曜日保育を実施する。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。	健康福祉課
一時保育や短期保育を実施する。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。	健康福祉課
発達支援保育を実施する。	実施済み	発達支援が必要なお子さんもお子さんと一緒に生活し、一緒に遊ぶ中で伸びあう力をつけていこうと統合保育を実施	引き続き実施する。	健康福祉課
② 病児・病後児保育の体制整備を図る。				
病児・病後児保育の体制の整備について検討する。	検討中	研修会等で他市町の状況を調査 実施できるか検討中		健康福祉課

③ 放課後児童クラブの充実を図る。					
	老朽化に伴う施設の移転新築を行う。	H29実施予定	土地の買収、造成工事を実施	平成30年開所を目標に事業を実施中	健康福祉課
	多子入所時の利用料の減免を行う。	実施済み	通年で兄弟が同時入所の場合、2,000円/月の減免を実施	県の新規事業により拡充予定	健康福祉課
	要保護・準要保護児童の利用費の支援を行う。	実施済み	実施済み	県の事業により拡充予定	健康福祉課
	大谷小、西五百川小学区利用者の利用に係るタクシー代を無料にする。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。	健康福祉課
④ 放課後における安全安心な子どもの居場所を作る。					
	放課後における地域の先生による学習やスポーツ、文化活動等の取組みを推進する。【再掲】				教育文化課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
出生者数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 204人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:39人)	人口動態調査	34人 (H27:34人)	33.3%	健康福祉課
合計特殊出生率	平成31年度 1.75 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:1.56)	人口動態調査	※まだ出ていない (H28の人口動態調査の確定数が出るのはH30.3以降になる予定)		健康福祉課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。

(2) 子育てしやすい職場環境の整備を促進する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 企業等における子育てしやすい職場環境を整備するための取組みを促す。				
町内企業の企業子宝率、産休・育休の取得率等を調査し、子育て優良企業に対して優遇措置等のインセンティブを与える取組みを行う。	実施済み	町内企業を訪問し、女性の雇用体制やどのような支援を求めるかについて聴き取り調査を実施。	聴き取り調査の結果を基に、施策の検討を行う。	政策推進課 (健康福祉課)

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
山形いきいき子育て応援企業のうち実践(ゴールド)企業以上に認定された企業の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3社 (平成27年度現在:1社)	実績	0社 (平成27年度:1社)	33.3%	政策推進課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。

(3) 自分の仕事に自信と誇りを持てるようにする。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 町内の商工業の質及び収益性の向上を図る。【再掲】				総合産業課
② 町内の農業の質及び収益性の向上を図る。【再掲】				農林振興課
③ 年間を通して仕事を作ることにより、就農者の生活の安定性を図る。【再掲】				農林振興課

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。

(1) 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 出会いの場づくりに対する支援を行う。				
町内の結婚希望者のニーズに応じたより効果的な婚活イベントの企画を行う。	実施済み	婚活イベントを2回開催 ・ワイン城での試飲と自然観でのバーベキュー(カップル数2組) ・天童市の結婚式場アンジェリーナでのカップリングパーティー(カップル数2組)	カップル成立数が増えるような企画を検討し、引き続き年2回の婚活イベントを継続する。	政策推進課
町内の事業所、団体等における婚活パーティの開催を促進する。	実施済み	町内の飲食店が企画、開催した婚活パーティーに対する補助1件	引き続き町内の団体等が開催する婚活パーティー等を支援する。	政策推進課
県内の婚活イベント情報の情報提供を強化する。	実施済み	お知らせ板において、やまがた結婚サポートセンターのHPで県内のイベント情報が見られる旨周知するとともに、町HPにやまがた結婚サポートセンターのHPへのリンクを貼った。	引き続きお知らせ板等により周知を行う。	政策推進課
やまがた出会いサポートセンターの活用を促すことで、1対1のマッチングを図る。	実施済み	お知らせ板において、やまがた結婚サポートセンターのHPで県内のイベント情報が見られる旨周知するとともに、町HPにやまがた結婚サポートセンターのHPへのリンクを貼った。	引き続きお知らせ板等により周知を行う。	政策推進課
婚活イベントの参加者に事前に婚活を成功させるためのポイントや注意点についてのレクチャーを行う。	実施済み	婚活イベントの1週間前及び当日に参加者に対してセミナーを実施。	引き続き婚活イベント参加者のための事前セミナーを実施する。内容については、より効果的なものとなるよう検討する。	政策推進課
② 仲人活動への支援を行う。				
仲人による情報交換会を開催する。	実施済み	仲人による情報交換会の開催(年6回) プロジェクターを用いて、より活発な情報交換会となった。	引き続き実施していく。	政策推進課
仲人の活動に係る交通費に対して支援する。	実施済み	仲人活動に要した交通費について補助金を交付(7名)	引き続き補助を行い支援していく。	政策推進課
成婚に至った場合に仲人に対し奨励金を交付する。	実施済み	1組成婚があり、奨励金を交付した。	引き続き奨励金を交付することで成婚数が増えるように取組む。	政策推進課
近隣市町の仲人との交流会を開催する。	実施済み	寒河江市、大江町、白鷹町との仲人交流会を実施。	引き続き実施していく。	政策推進課
③ 人としての魅力アップを図る。			婚活イベントの1週間前にセミナーを開催することで自分への自信や結婚に対する意識づけを図る。	
人としての魅力アップを図るための啓発講座を実施する。	実施済み	【再掲】 婚活イベントの1週間前及び当日に参加者に対してセミナーを実施。	【再掲】 引き続き婚活イベント参加者のための事前セミナーを実施する。内容については、より効果的なものとなるよう検討する。	政策推進課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の考え方	平成28年度の実績値	達成度	担当課
婚活イベント等を通じた朝日町民の成婚数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3組 (平成23年度から平成26年度までの実績1組)	実績	0	0.0%	政策推進課
仲人活動を通じた成婚数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 5組 (平成26年度:0組)	実績	1組 (平成27年度:1組)	40.0%	政策推進課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。

(2) 出産・子育てにおける不安・負担を軽減する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 妊娠における不安を軽減する。				
妊婦健診(基本部分)を無料にする。	実施済み	妊娠届があった妊婦31人に対し、妊婦健康診査受診券を交付した。	事業を継続実施し、妊婦の負担軽減を図る。	健康福祉課
ハイリスク妊婦への電話相談、訪問支援を実施する。	実施済み	妊娠・出産包括支援事業を実施。助産師による切れ目ない支援を行った。	妊産婦が安心して過ごすことが出来るよう、継続的な事業を展開する。	健康福祉課
特定不妊治療費に対して支援する。	実施済み	特定不妊治療費に対する助成事業を実施。	事業を継続実施し、対象者の負担軽減を図る。	健康福祉課
マタニティ相談やマタニティママサポート講座を実施する。	実施済み	マタニティ相談35人。マタニティママサポート講座年2回、12人参加。	妊娠・出産の不安軽減を図り、子どもを迎える家族の支援を充実させる為、継続して事業を実施する。	健康福祉課
母子保健コーディネーターを配置し、妊娠、出産、育児期の切れ目ない支援を行う。	実施済み	平成27年度より母子保健コーディネーターを配置。母子健康手帳交付時より、全妊婦に対し保健師が個別に健康相談を行い、専門機関と連携するなどの継続的な支援体制を構築している。	妊産婦の不安軽減を図るため、継続して事業を実施する。	健康福祉課
② 子育てに対する不安を軽減する。				
子育てに関する相談(こども相談、もぐもぐ相談(離乳食相談)、こころの健康相談)を実施する。	実施済み	こども相談年12回、延172人。もぐもぐ相談年6回、延29人。こころの相談 年3回、延8人。	子どもの発達や生活習慣に関する相談事業を実施。今後も継続した事業を実施する。	健康福祉課
子育てに関する講座(ベビーマッサージ講座、あさひ家庭教育学級、家庭教育講座)を実施する。	実施済み	ベビーマッサージ講座 年2回、延30人参加。	子育て世代の保護者同士の繋がりを強め、育児不安軽減を図る為継続して事業を実施する。	健康福祉課
③ 子育てにおける経済的負担を軽減する。				
中学生以下の医療費を無料にする。	実施済み	中学生以下の医療費無料化を実施	引き続き実施する。	健康福祉課
保育園において第2子(3歳以上児)の保育料を定額にする。【再掲】				健康福祉課
保育園において第3子以降(3歳以上児)の保育料を無料にする。【再掲】				健康福祉課
特別支援学校に就学する児童に対する就学支援及び通学支援を実施する。	実施済み	通学支援については、通学者2名に対しタクシーでの送迎事業を実施した。就学支援については、2名に対し年間15万円補助を行っている。	今後も特別支援学校等に就学するご家族にタクシーでの通学支援か就学支援の補助どちらか選択していただき支援を行っていく。	健康福祉課
任意予防接種への助成を行う。	実施済み	季節性インフルエンザ予防接種。2000円助成383件申請。おたふくかぜ予防接種3000円助成24件申請。	感染症予防の為に今後も継続した助成を行う。	健康福祉課
経済的理由により就学が困難な学生に対して奨学金を貸与する。	実施済み	平成28年度新規貸与者8名	継続実施	教育文化課
寒河江宮宿間の路線バスを利用する高校生に対して、定期券の購入費を支援する。【再掲】				政策推進課
不要になった子育て用具のシェアを推進する。	実施済み	宮宿小学校では、保護者会が中心となりおさがり会を実施	引き続き実施する。	健康福祉課

④ 出産・子育て支援制度に関する周知を図る。				
	子育てガイドブックを作成し、広く配布する。	実施済み	子育てガイドブック概要版を作成し、保育園、小学校を通じ配布	子育てガイドブック概要版を全戸配布
	朝日町の子育て支援制度について町外にも広くPRする。	実施済み	町ホームページに、支援制度を掲載	町外へのPRの強化

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
町民アンケートにおいて、子どもを2人以上ほしいと回答した人の割合	平成32年度 92% (平成27年度:87%)	平成32年度に実施する町民アンケートの結果	-	-	健康福祉課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。

(3) 子育てについての意識啓発を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 若者が早い段階から子育ての喜びや大切さについて触れる機会を設ける。				
中学生・高校生を対象に乳幼児とのふれあい育児体験教室を開催する。	実施済み	ボランティア & 育児体験(思春期講座)を実施。年1回(H28年度25名)	引き続き実施する。	健康福祉課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
中学生アンケートにおいて、子どもを2人以上ほしいと回答した生徒の割合	平成31年度 85% (平成27年度:80%)	平成32年度に実施する中学生アンケートの結果	—	—	健康福祉課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 子育てをしやすい「まち」を創生する。

(1) 地域への子どもの定着を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 空き家を有効活用し、地域への若者の定住に向けた住宅を整備する。【再掲】				
地域の空き家をリフォーム又はリノベーションした定住促進住宅を整備する。 【再掲】				建設水道課

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 子育てをしやすい「まち」を創生する。

(2) 子どもの遊び場の充実を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 魅力ある屋内の遊び場を提供する。				
子育て支援センターにおいて保護者と子どもが自由に遊べる屋内の遊び場を提供する。	実施済み	子育て支援センターにおいて保護者と子どもが自由に遊べる屋内の遊び場の提供を実施	引き続き実施する。	健康福祉課
② 魅力ある野外の遊び場を提供する。				
魅力的な遊具がある屋外の遊び場を整備する。	検討中	・子育て支援センターの利用者に対して、日曜日(保育園が休園のとき)にあさひ保育園の園庭を開放し、既存施設の有効活用を図るとともに、利用状況を把握し今後の遊び場整備の検討の参考とする ・秋葉山交遊館(北部公民館)の遊具改修	町にどのような遊具・屋外遊び場が必要なのかを検討	健康福祉課
地域における公園の機能向上を図るための取組みに対し支援する。	実施済み	地域において、安全面の適正な管理が行われるように依頼を行った。 ・地域提案型交付金による公園の修繕1件	現行制度を継続し、相談及び支援を行っていく。	政策推進課
町内の公園マップを作成し、配布する。	実施済み	子育てガイドブックに公園マップを含めて作成し、配布	引き続き実施する。	健康福祉課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
野外の遊び場の整備数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 1箇所	実績	0	0	健康福祉課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

基本目標3 高齢者が生涯現役で住み続けることのできる環境を整える。

全体の数値目標 (KPI)	指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
	要介護認定を受けていない65歳以上の人の割合	平成31年度 77% (平成26年度:80%)	介護保険事業状況報告	80% (平成27年度実績78.8%)	103.9%	健康福祉課

1 高齢者が生きがいを持って取り組める「しごと」を創生する。

(1) 高齢者の仕事づくりを支援する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 高齢者が自らの能力を活用して社会参加する場の確保を支援する。				
シルバー人材センターの運営を支援する。	実施済み	運営費に対して補助金を交付し支援	今後も継続してシルバー人材センターの運営支援を継続していく。	健康福祉課
放課後における地域の先生による学習やスポーツ、文化活動等の取組みを推進する。【再掲】				教育文化課
② 高齢者による物づくり活動を支援する。				
高齢者生産活動センターにおいて物づくり活動を支援する。	実施済み	社会資源コーディネーターを1名配置し、高齢者生産活動部会の支援を実施。各部会の製品を道の駅で販売した事で販売額も増加した。	社会資源コーディネーター配置の県補助事業はH28で終了するが、今後も継続して支援を行っていく。	健康福祉課
③ 高齢者による農業を支援する。				
定年帰農者の農業機械の購入に対して支援する。	実施済み	定年帰農農機具等支援事業 3件	引き続き支援を行う。	農林振興課
自宅の畑で取れた農作物等を道の駅等で直売しやすい体制を整える。	検討中		栽培管理した安全な農作物の販売が基本であり、今後要検討	総合産業課
高齢者が集まって野菜作りができるような場を提供し、そこで取れた野菜等を道の駅等で販売する仕組みを構築する。	検討中		拠点となるハウス整備等について検討する。	農林振興課 (総合産業課)
就農の促進を図るため、農地を取得できる下限面積を緩和する。【再掲】				農林振興課
④ 高齢者による創業を支援する。				
町の行政、商工会、観光協会、金融機関等による連携組織を立ち上げ、助成金、融資、小口投資・寄附等を組み合わせながら、ワンストップで新規創業の支援を行う。【再掲】				総合産業課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
65歳以上の高齢者に占める年金以外の所得(農業所得、営業所得又は給与所得)のある者の割合	平成31年 25% (平成26年:約20%)	課税台帳(所得状況の把握) 住民基本台帳(65歳以上の高齢者の人数)	23.6%	94.4%	健康福祉課 (税務町民課)

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 いつまでも健康で元気な「ひと」を創生する。

(1) いつまでも健康で元気な高齢者の増加を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 高齢者及び若いうちからの健康づくり、生きがいつくり活動に対し支援する。				
介護予防教室や健康教室等を開催する。	実施済み	二次予防教室(運動器機能向上)全24回(口腔器機能向上)全4回:実42人参加 一次予防教室(地区実施)全51回延628人、介護予防料理教室全13回延105人、介護予防事業(運動器機能向上・認知症予防)47回延506人 認知症予防研修会1回延280人	地域での介護予防健康教室を継続していく。	健康福祉課
各地区での健康づくり事業や、生きがいつくり活動に対し支援する。	実施済み	元気クラブ活動支援補助金(26団体) 高齢者サロン事業への補助(社協)	高齢者居場所づくり活動支援補助金による、地域での高齢者を中心とした活動の支援を継続。	健康福祉課
介護予防サポーター、認知症サポーターの養成を図る。	実施済み	介護予防ボランティア研修会・元気クラブ活動ボランティア研修会3回 認知症サポーター養成講座(小学校2校・地域3)	認知症サポーター養成講座継続実施により、認知症への理解を広げる。	健康福祉課
介護予防や生活習慣病の予防、健診の受診等についての啓発を図る。	実施済み	二次予防教室(運動器機能向上)全24回(口腔器機能向上)全4回:実42人参加 一次予防教室(地区実施)全51回延628人、介護予防料理教室全13回延105人、介護予防事業(運動器機能向上・認知症予防)47回延506人	継続実施により、周知を図る。	健康福祉課
「やまがた健康マイレージ」の協賛店の拡大を図る。	実施済み	町内協賛店3カ所	商工会等への依頼を継続し、協賛店の拡大を図る。	健康福祉課
町内における健康づくり事業や生きがいつくり活動について体系的に把握できるパンフレットを作成する。	検討中		平成29年4月介護予防・日常生活総合事業の周知に合わせて実施。	健康福祉課
ミズノ株式会社と連携した健康づくり事業を展開する。	実施済み	平成28年度、ミズノ共催によるらくらくポールボランティア養成教室を開催参加人数28人。	継続	健康福祉課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
要介護認定を受けていない65歳以上の人の割合	平成31年度 77% (平成26年度:80%)	介護保険事業状況報告	80%	103.9%	健康福祉課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 高齢者がいつまでも住み続けることのできる「まち」を創生する。

(1) 雪かきの負担を軽減する。

施策		実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 地域における除雪体制を支援する。					
	地域住民の共助により雪かきに取り組む地域を支援する。	実施済み	民家等の雪対策事業(交付金) 35地区(114件)	継続して実施するとともに、より活用しやすい制度の検討を進める。	政策推進課
	住民のみならず、ボランティア、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による除雪等の生活支援サービスの提供を図る。	検討中	生活支援体制整備事業を(福)朝日町社会福祉協議会に委託し、高齢者を取巻く生活支援の状況を把握。	高齢者を取巻く生活課題の一つとして、段階的な取り組みの中で検討していく。	健康福祉課
② 除雪費用の負担を軽減する。					
	一定の要件を満たす地域又は個人が委託する除雪業者への費用に対して支援する。	実施済み	・民家等の雪対策事業(除雪業者への費用に対する補助金) 6地区(7件) ・民家等の雪対策に取組めない地域の高齢者個人に対する補助該当者なし	継続して実施するとともに、より活用しやすい制度の検討を進める。	政策推進課 (健康福祉課)
③ 除雪の負担の少ない地域環境を整備する。					
	流雪溝を整備する。	実施済み	1か所(和合地区に都市再生整備事業で実施)	除排雪の負担を軽減するため水源を確保できる地域に対し事業を推進する必要がある	建設水道課
	住宅の融雪化に対し支援する。	実施済み	申請者なし	継続して実施するとともに、より活用が進むような周知方法の検討を進める。	建設水道課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
流雪溝を整備した地区数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 2地区 (平成26年度:1地区)	実績	1地区 (平成27年度:1地区)	50%	建設水道課

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 高齢者がいつまでも住み続けることのできる「まち」を創生する。

(2) 高齢者の足を確保する。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① デマンドタクシーの運行				
各地区と宮宿地区を結ぶデマンドタクシーを運行する。	実施済み	町内42区を対象に往路、復路5便を運行 利用実績:13,440人 和合4区、大谷1～7区、栗木沢、真中。中沢区の14区は山交バス 対応、下り11時便1便のみ運行	42区については、継続して実施する。 山交バス対応区のデマンド運行の増便を検討する H29より、上り9時30分、下り11時便を運行	政策推進課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
平成27年度から平成31年度までの5年間のデマンドタクシーの年間平均延べ利用者数	13, 400人 (平成26年度:13, 323人)	実績	13,440人	100.3%	政策推進課

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 高齢者がいつまでも住み続けることのできる「まち」を創生する。

(3) 高齢者の日常生活を支援する体制の充実を図る。

施策	実施状況	H28事業実績	今後の方針	担当課
① 訪問サービスの充実を図る。				
道の駅において、移動販売サービスを実施する。	実施済み	町内5集落で移動販売を実施中	今後販売区域の拡大について検討していく。	総合産業課
訪問理美容サービスの費用に対し支援する。	実施済み	訪問理美容サービスの費用に対し支援(3件)	継続	健康福祉課
配食サービスを実施する。	実施済み	ふれあい給食(週2回:水・金)を社会福祉協議会へ業務委託し実施。延2046食	継続	健康福祉課
在宅医療と介護の連携を図る。	実施済み	寒河江市西村山郡訪問看護事業団に在宅医療介護連携推進事業を委託し実施。在宅医療介護連携町内研修会を実施。	継続	健康福祉課
② 多様な主体による生活支援サービスの提供体制を構築する。				
住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による地域の高齢者への生活支援サービスの提供を図る。	検討中	生活支援体制整備事業協議体[多様な主体による協議体)で生活支援サービスの仕組みづくりを検討。	継続	健康福祉課
地域の協働を支援する協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置を行う。	実施済み	平成28年5月生活支援体制整備事業協議体を設置、平成28年8月生活支援コーディネーター1名を配置。	継続	健康福祉課
③ 高齢者向け集合住宅の整備を図る。				
高齢者向け集合住宅の整備に対し支援する。	H29実施予定	高齢者向け住宅の種別と運営形態を検討	平成29年度に高齢者向け住宅の種別と運営形態を決定する。	健康福祉課
④ 地域で高齢者の災害時の避難支援を行う体制を整備する。				
要援護者に対する各地区における避難支援体制の構築に向けた研修会を開催する。	H29実施予定		平成29年度に計画策定し、次年度以降研修会を順次開催する。	総務課

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成28年度の実績値	達成度	担当課
移動販売サービスを実施する事業所の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 1箇所	実績	1	100%	総合産業課
住民主体による高齢者への生活支援サービスの提供体制の構築に取り組む地区の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3地区	実績	0	0	健康福祉課
要援護者に対する避難支援体制を組んでいる地区数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 全地区	実績	0	0	総務課

全体評価	概ね良好
------	------